

第7節 その他構内の調査

ボート部合宿所給排水整備工事に伴う立会調査

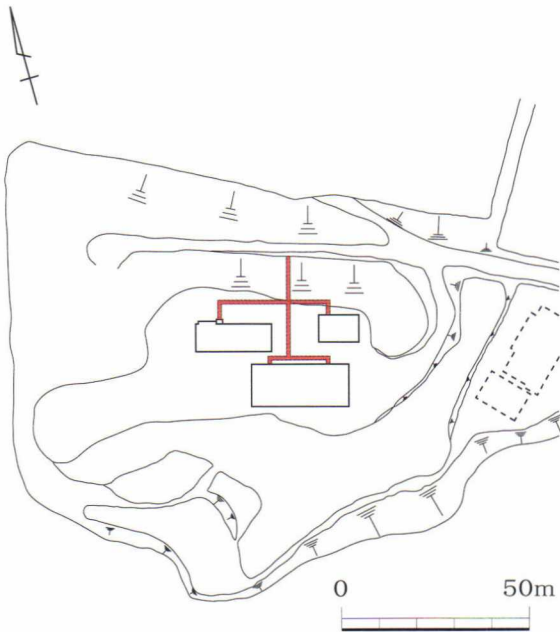


図 24 調査区位置図

調査地区 宇部市大字小野字土井

調査面積 約80㎡

調査期間 平成16年 2月16・18日

調査担当 田畑直彦

調査結果 ボート部合宿所は小野湖東岸に位置する丘陵上に立地している。工事は給水管、排水管の取り替えに伴うもので、幅約1m、総延長約80mの範囲を現地表下約70cmまで掘削するものである。調査の結果、合宿所北側の斜面では造成土の範囲内であった。そのほかは現地表下約15～25cmが表土で、以下は黄褐色粘質土の地山であった。

ボート部合宿所では、昭和59年に生活排水浄化槽新設に伴い、合宿所の北側で立会調査が行われている。その結果、表土以下では地山が確認され、埋蔵文化財は消失している可能性が指摘されている。今回の調査はボート部合宿所における2回目の調査となったが、結果は前回の調査結果を追認するもので、調査地全域で大規模な削平が認められた。現状で合宿所と西側に隣接する丘陵とは約60～80cmの段差があることから、合宿所建設時の造成により、大規模な削平が行われたことが推測される。従って、ボート部合宿所敷地では、過去に埋蔵文化財が存在していたとしてもすでに消失している可能性が高いと考えられる。

[注]

1) 森田孝一(1985)「第9章第4節1. ボート部艇庫合宿研修所整備に伴う立会調査」, 山口大学埋蔵文化財資料館(編)『山口大学構内遺跡調査研究年報Ⅳ』, 山口



写真 42 ボート部合宿所全景 (南から)